

仕事は「できる」が重要。 将来は、難しい製品をこの手で！



安全のため、指差し確認を忘れない

「どうしたら、会社は良くなっていくと思いますか」。就職活動中の会社説明会。ぶしつけに生意気な質問をした私に、嫌な顔を見せず誠実に答えてくれた担当者の人柄の良さで、会社としての器の大きさを感じた。

「マテリアルリサイクル」。わが社は、使用済み製品や生産工程から出るくずなどを回収し、新しい製品の原料に再生している。各務原本社では、不織布の原料にもなる再生ポリエステル短繊維を扱う。不織布は、車のフロアや衣料、防草シートなど、生活の幅広い用途で使われており、その品質の高さは社員とつづ誇らう。

「なぜできるか」を突き詰めて研究に没頭した学生時代。仕事では、「モノができる」との大切さを痛感する。自分には要領がいいと思っていたが、失敗を繰り返す現実には落ち込むときもある。繊維を紡ぐ糸掛け作業では、隣の先輩は10倍の早さで同じ作業を行っている。焦って急ぐとする度に周囲から温か

い励ましをもらう。「安全第一。機械は壊れたら直すことができる。でも、君がけがをしたら代わりはなごう」。

最近、任せられた仕事で、「商品として出せる」と太鼓判をもらった。あふれ出る嬉しさを隠すことはできなかった。

「もっと頼られる存在に。できることを増やして、いずれは研究開発分野で、多くの技術者から認められる製品を実現させたい」。心の中で宣言して、目標を上げた。

清瀬 玄

2019年入社。
京都出身で、大学・大学院は静岡、就職で各務原に。おがせ池の田園風景がお気に入り。

高安株式会社

【業種】製造業（繊維・樹脂等）

504-0828
各務原市蘇原村雨町3-47

<http://www.takayasu-rf.co.jp/>

